

初めまして！



神経内科 しるもと たかし 城本 高志 先生

今年の4月より水曜日の午後のみ神経内科外来をさせて頂いている城本高志です。現在は川崎医科大学大学院で神経生理学の研究をしています。主に脳梗塞後リハビリテーションの効果について研究しています。

脳卒中は癌、心筋梗塞と並び三大疾患の1つです。また患者さんの機能も大きく障害され、寝たきりの原因第1位です。昨日までは普段通りの生活をされていたのに、突然脳卒中になると今日は腕や足が動かなくなる

…大変怖い病気です。患者さんやご家族の身体的、心理的負担は計り知れません。

脳梗塞にならないよう、予防することはもちろん重要です。禁煙、運動、食生活など、予防する手段はたくさんあります。不幸にしてなってしまったら、1秒でも早く病院に来院する事が重要です。病院に来るのが早ければ早いほど、治療の選択肢は増えます。特に4.5時間以内であれば、脳の血管に詰まった血の塊を溶かす特殊な治療が受けられます。

話は少し変わりますが、昔、人間の神経細胞は、一旦障害を受けると再生しないものと考えられていました。脳梗塞になったら死んでしまった細胞は元には戻らない。確かに残念ながら脳梗塞になった部分の細胞を生き返らせる治療は現在の医学では困難です。

ただし最近の研究では、脳の別の部位から神経細胞が新生し、更に脳梗塞の周りの細胞が頑張っ

て死んでしまった細胞の代わりに果たすようになる事が分かってきました。

特にリハビリテーションを頑張れば、その反応がより顕著になるようです。脳梗塞になった後でも、リハビリテーションを実施する事は大変重要です。リハビリテーションは数日で終わるものではなく、患者さんにとっては負担のかかるものですが、頑張れば神経細胞は新生していき、周りの細胞も機能を果たすようになります。リハビリテーションを頑張れば機能が回復してくる希望が持てます。

なったから終わりではありません。そんな患者さんに少しでも希望が持てるような研究が出来ればと思います。

外来でも地域の皆さんの医療に貢献していきたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。

城本先生は毎週水曜日午後の神経内科外来を担当しておられます。

Doctor's Eyes